帝国書院『社会科 中学生の公民』　特色一覧
② 検討の観点から見た内容の特色

観点	観点の内容	帝国書院　『社会科 中学生の公民』の特色　　※（青字）は教科書のページ	内容解説資料での特色と掲載ページ
教育基本法との対応	**教育基本法との対応**が十分にはかられているか。	●教育基本法第一条の目標および教育基本法第二条第一～五号に示された内容について、**社会科の目標や学習内容に沿った指導を効果的に行うことができる**ように構成されている。	おもに p.59-60
学習指導要領との対応	**学習指導要領の目標・内容の趣旨**に沿ったものであるか。	●単元構成は、学習指導要領の目標・内容に沿って構成されている。「もくじ」「教科書を活用した学び方」「公民的分野の学習の全体像」では、単元構成と学習内容、各種コーナーの意図や役割が一望でき、学習の位置づけや見通しがつかみやすいように工夫されている。（巻頭3-7） ●部や章の学習内容を見通せる「学習の前に」、章・節ごとの単元を貫く問い、政治や経済などのしくみや概念が理解しやすい本文、単元の最後の「学習を振り返ろう」というように単元が構造化され、見通し・振り返りに基づいた単元の学習を確実に実践できるように工夫されている。 ●学習指導要領で重視されている「社会的な見方・考え方」について、第1部第2章第3節「現代社会をとらえる枠組み」や特設ページ「アクティビティに挑戦」など、全編にわたって充実している。（p.16-21、22-23など）また、公民的分野の全体を通して鍛えていく「現代社会の見方・考え方」を整理したページが設けられ、わかりやすく説明されている。（巻頭８） ●知識が確実に習得できるように丁寧な本文とし、本文の理解を促す資料を適宜設置している。また、基礎的な技能が身に付く「技能をみがく」コーナーが随所に盛り込まれ、公民としての資質・能力の基礎を育成できるように配慮されている。	おもに 特色１-５ p.5-40 および p.41-48
内容の配列・分量・程度	**全体の分量**は，年間標準時数から見て適切か。各単元の配当時数は適切か、**系統性**が考慮されているか。	●１見開きは１単位時間（以下、時間）の授業が想定され、学習課題が明確に設定されている。 ●授業数は、第１部に11時間、第２部34時間、第３部24時間、第４部14時間、第５部7時間が配当され、標準授業時数100時間のうち90時間を活用する配当で、適切である。予備時間は10時間設けられている。	おもに 特色３　p.19-32
	内容の程度・範囲および文章は，生徒の発達段階から見て適切か。	●本文は、**具体的に例示したり、社会的事象の背景や因果関係までわかる**ようにしたりするなど、丁寧でわかりやすくなっている。また、平易な表現にするなど、中学生の**発達段階が考慮**されている。 ●本文、図版タイトル、キャプションの難しい漢字にはふりがなが付されている。また、固有名詞や公民用語には適宜ふりがなが付されており、用語や熟語が正しく読めるように配慮されている。 ●文体は「です、ます」調の語り口で、**生徒に親しみやすい**よう配慮されている。 ●中学校学習指導要領の学習範囲を逸脱せず、基本的な用語や概念の理解を優先的に学べるようになっている。	おもに 特色１　p.5-10
	学習を**効果的かつ効率的に進める**ための工夫がなされているか。	●各見開きは、本文、資料、側注などが**統一されたレイアウトで配置され、紙面の使い方が整理されている。**学習内容が定着するよう、「導入→学習課題→本文→確認しよう・説明しよう」という展開で統一し、構造化されている。 ●本文と資料の関連する箇所には、**図・写真や他ページへの適切な参照指示**が記載され、学習効果を高めるとともに、効率よく資料の活用ができるように工夫されている。 ●各見開きでは、**学習している分野がわかるように、部ごとの色が統一**されている。さらに、紙面右端に**インデックス**が設けられ、**全体における位置づけを確認しながら学習できる**ように工夫されている。 ●用語解説や関連資料が本文のページの側注欄に掲載されており、ページ間を移動する時間が省け、生徒が集中力を切らさないで授業を進められる。	おもに 特色１　p.5-10 特色３　p.19-32
内容の扱い／学習活動	**課題解決的な学習を行う**ための構成・工夫がなされているか。	●単元を貫く「章の問い」、「節の問い」、各見開きの「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」、節末の「節の問いをまとめよう」と章末の「学習を振り返ろう」というように、問いが構造化され、単元を通してそれぞれの問いを考えていくことで、課題解決的な学習ができる構成になっている。 ●「学習を振り返ろう」では、「章の問い」に対して「社会的な見方・考え方」を働かせて考えるステップなどにより、課題解決的な学習ができる工夫がなされている。（p.174-177など） ●「アクティビティに挑戦」では現代社会の諸課題を考察し、解決への取り組みを考えるパフォーマンス課題が設定されている。（p.64-65、166-167など）	おもに 特色３　p.19-32
	「主体的・対話的で深い学び」を実現するための構成・工夫がなされているか。	●「学習の前に」では、大きなイラストから学習内容に関連した事項を探し出す作業を通じて、生徒の興味・関心を引き出し、「主体的な学び」を促すよう配慮されている。 ●単元を貫く「章の問い」、「節の問い」、各見開きの「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」、章末の「学習を振り返ろう」というように問いが構造化され、単元のまとまりのなかで「主体的・対話的で深い学び」が実現できる構成になっている。 ●本文のページは左ページ上段に導入資料、右ページ上段に図版、写真、コラムを配置し、下部に本文を掲載する学習しやすいレイアウトで統一されている。また、相互にリンクが張られ、資料が活用しやすく工夫されている。 ●特設ページ「アクティビティに挑戦」では、実社会で起きうる問題に対して、さまざまな立場から考察することを通じて、「深い学び」につなげられるよう配慮されている。また、対話的な学習を通して、課題に粘り強く向き合い、さまざまな立場を踏まえて合意形成を目指す態度を身につけられるように工夫されている。(p.39、133、166-167など計43か所) ●「学習を振り返ろう」では、学習した知識をもとに、「社会的な見方・考え方」を働かせながら主体的・対話的に「章の問い」を振り返ることで、「深い学び」につなげられるよう配慮されている。（p.24-26、174-177など計5か所） ●対話を促す「対話」アイコンを設置している。対話的な学びを通して、自身の考えをより深めるとともに、他者の意見を尊重する態度を身につけられるように工夫されている。（全編）	おもに 特色１　p.5-10 特色２　p.11-18 特色３　p.19-32

帝国書院『社会科 中学生の公民』　特色一覧
② 検討の観点から見た内容の特色

観点	観点の内容	帝国書院　『社会科 中学生の公民』の特色　　※（青字）は教科書のページ	内容解説資料での特色と掲載ページ
内容の扱い／学習活動	基礎的・基本的な**「知識および技能」を確実に習得する**ための工夫がなされているか。	●見開き１時間の紙面が、**興味・関心を引く「導入」→学習を見通せる「学習課題」→丁寧でわかりやすい「本文」→学習内容を振り返る「確認しよう」「説明しよう」の展開で構造化**され、基礎的・基本的な知識および技能が確実に習得できるようになっている。 ●部や章の冒頭にある**「学習の前に」のイラストや資料から学習内容を見通し、「学習を振り返ろう」で学習内容を振り返る**学習活動ができるようになっている。 ●本文は、全編にわたり社会的事象の背景や概念がわかるように**因果関係をふまえた上で、具体例を挙げながらわかりやすく**記述されている。 ●「技能をみがく」コーナーが6か所設けられ、**学習する上で必要な基礎的な技能が習得できる**よう配慮されている。（p.23、65、85、99、109、167など） ●本文側注およびＱＲコンテンツの中に**用語解説**が用意されている。	おもに 特色３　p.19-30 および　p.45-48
	深い学びを実現させるための**「思考力・判断力・表現力等」を育成する**ための配慮がなされているか。	●本文のページの見開き右下には、「確認しよう」と「説明しよう」が設置されている。「確認しよう」には本時の学習での習得事項を確認する作業課題が、「説明しよう」には本時の学習内容を活用して思考を促し、自分なりに判断・表現する問いが設けられている。これにより**言語活動を毎時間くり返し行い、思考力・判断力・表現力を育成できる**よう配慮されている。 ●各章末には「学習を振り返ろう」が配置され、**章の学習で得た知識を生かして、「社会的な見方・考え方」を働かせつつ、単元を貫く問いに対して思考・判断・表現する課題**が設けられている。また、**思考ツールを用いて自分の考えを整理・構造化できる**ようになっている。 ●現代の社会で議論されているさまざまなテーマの賛否を示す「Yes No」のコーナーが４か所設けられ、生徒が自分の考えを整理できるようになっている。	おもに 特色３　p.19-32
	「思考力・判断力・表現力等」の育成につながる**社会的な見方や考え方を働かせる**ための配慮がなされているか。	●「対立と合意」「効率と公正」（第１部）、「個人の尊重と法の支配、民主主義」（第２部）、「分業と交換、希少性」（第３部）、「協調、持続可能性」（第４部）などの公民的分野における「現代社会の見方・考え方」を、各部の本文のページで丁寧に解説している。さらに、特設ページ「アクティビティに挑戦」や「章の学習を振り返ろう」などでは、具体的な事例や意見交換を通して、「現代社会の見方・考え方」を働かせられるように工夫されている。 ●地理的分野や歴史的分野で働かせる「見方・考え方」についても、教科書冒頭の「公民的分野の学習の全体像」で振り返るとともに、第５部第１章「課題探究と私たち」でそれらの「見方・考え方」を働かせながらレポートを作成するように促し、関連が図られている。（巻頭８、p.215-223）	おもに 特色３　p.19-32 特色４　p.33-36
	生徒の**興味・関心**を喚起させ，**「主体的に学習に取り組む態度」を育成する**配慮がなされているか。	●幅広の判型（AB判）で、**写真やグラフ、表などが大きく見やすく提示され**、学習への興味・関心が喚起されるように工夫されている。 ●部や章の導入として、学習内容を見通すことができるイラストで構成した**「学習の前に」**が設けられ、学習内容と生活との関連を見出し、興味・関心を高めてから学習に入ることができるようになっている。 ●生徒にとって親しみやすい中学生のキャラクターが各ページに配置され、**発問や気づき、学習の手がかりや示唆などを提示する**ことで、主体的に学習に取り組めるように配慮されている。 ●各見開きの左上に、１時間ごとの導入となる資料が設けられている。ワイドな写真からイメージを喚起したり、学習内容を直感的に理解できるイラストなどから生活との関わりを具体的にイメージしたりして、**学習への意欲を引き出せる**ようになっている。	おもに 特色２　p.11-18 特色３　p.19-32
	小学校・高等学校との接続や関連に配慮がなされているか。	●部の冒頭にある**「部扉」**に**「小学校で学習した事項」のコーナーが設置**され、小学校での学習事項を振り返り、部などの学習内容を見通すことで、学習効果を高められるようになっている。（p.１など） ●本文のページ下段には「小学校・地理・歴史・他教科との関連」コーナーが設けられ、**小学校で学習した内容を確認できる**よう、関連用語が提示されている。（p.184など）また、資料には「小・地・歴アイコン」が付され、小学校の学習との関連を確認できる。（p.38、146など） ●高等学校の３年生で18歳選挙権を行使する生徒がいることをふまえ、高等学校の前段階である中学校の公民的分野の学習において、**主権者としての社会参画の意義**をさまざまな面から理解できる**「18歳への準備」**を設けている。（p.128-129など）	おもに 特色３　p.19-32
	他分野との接続や関連への配慮がなされているか。	●本文ページ下段には「小学校・地理・歴史・他教科との関連」コーナーが設けられ、**地理的分野・歴史的分野で学習した内容を確認できる**よう、関連用語が提示されている。（p.184など）また、資料には「小・地・歴アイコン」が付され、地理的分野・歴史的分野との関連を確認できる。（p.81、191など） ●積極的に地図が取り入れられており、地理的分野との接続が考慮されている。（p.193など） ●地図帳の活用が効果的な場面には**「地図帳活用」**のアイコンを付し、地図帳の活用を促している。（p.4など）	おもに 特色３　p.19-32 および　p.45-52
内容の扱い／	我が国の**伝統・文化、宗教に対する理解を深められる**配慮がなされているか。	●第１部第１章第２節「私たちの生活と文化」において、伝統・文化や宗教について丁寧に解説するとともに、狂言師・野村萬斎さんのインタビューから、伝統・文化を継承し、創造していくことの大切さを実感できるようになっている。（p.14-15、p.28） ●コラム・特設ページ「未来に向けて　伝統・文化」が2箇所設置され、伝統・文化に関する取り組みが紹介されている。（p.15、28）	おもに 特色４　p.33-36 および　p.41

帝国書院『社会科 中学生の公民』　特色一覧
② 検討の観点から見た内容の特色

観点	観点の内容	帝国書院　『社会科 中学生の公民』の特色　　※（青字）は教科書のページ	内容解説資料での特色と掲載ページ
学習活動	我が国の**領土・領域を正しく理解できる**配慮がなされているか。	●第４部第１章第１節「２領土をめぐる取り組み」において、北方領土、竹島、尖閣諸島が日本固有の領土であることが明記され、領土に関する現状を示しつつ、平和的な解決に向けた方法が考えられるようになっている。（p.186-187）	おもに 特色４　p.33-36 および　p.44
	補充的な学習や発展的な学習に対して、そのような工夫・配慮がなされているか。	●具体例を交えた本文やそれを補足する図解などによって、基礎的・基本的な学習内容が定着し、補充的な学習を行いやすくなっている。 ●「未来に向けて」が設置され、現代社会の諸課題に取り組む人々の姿を示すことで、社会に対し生徒自身がどのように参画していくかを発展的に考えることができるようになっている。（p.178-180など） ●「アクティビティに挑戦」では、現代社会の諸課題を考察し、解決への取り組みを考えるパフォーマンス課題や、社会参画を疑似体験できるシミュレーション学習を設置している。（p.64-65、166-167、133、135、137、139、141、143、144-145など）	おもに 特色３　p.19-32 特色４　p.33-36
	生徒が家庭でも**主体的に自学自習**できる配慮がなされているか。	●「教科書を活用した学び方」を掲載し、**自学自習がしやすい**よう配慮されている。（巻頭5-6） ●本文のページには「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」が設置され、予習・復習がしやすいようになっている。また、単元のまとめである「学習を振り返ろう」も復習しやすいよう配慮されている。 ●ＱＲコンテンツでは、学習内容に関連する動画や「学習を振り返ろう」の解答などが閲覧でき、生徒が自学自習しやすいように工夫されている。（巻頭６など全45か所）	おもに 特色３　p.19-32 特色５　p.37-40
今日的な課題への対応	**「持続可能な開発目標」（SDGs）**に関して、どのような配慮がなされているか。	●教科書最初の見開き**「未来に向けて　よりよい社会を目指して」**では，SDGsに対する各地の具体的な取り組みが紹介されている。（巻頭1-2） ●第1部第1章第１節**「私たちと持続可能な社会」**では、持続可能な社会の考え方及び、持続可能な開発目標について解説されている。（p.4-5） ●各章末の**「学習を振り返ろう」最終ページ**では、SDGsの視点を活用して**探究課題を設定することで、第５部「課題探究学習」につながる**よう、工夫されている。（p.26、72、112、177、212） ●第４部第１章第１節「４持続可能な国際社会に向けて」では、「持続可能な開発目標」（SDGs）の達成にむけた**取り組みや課題**について解説されている。（p.190-191） ●**第５部「課題探究学習」**では、「持続可能な社会の実現」という観点から考察・構想し、**自分の考えをレポートとして論述できる**よう構成されている。（p.215-223） ●特設**「未来に向けて」**においては、関連の深いSDGsのマークが付されている。（p.178-180など）	おもに 特色４　p.33-36 および　p.44
	環境教育に関して、どのような配慮がなされているか。	●第４部第１章第２節では、**地球環境問題について、その原因や背景から、脱炭素社会の実現に向けた取り組みまで紹介**されている。（p.196-201） ●コラム・特設ページ**「未来に向けて　環境・エネルギー」**が7箇所設置され、環境・エネルギーに関する取り組みが紹介されている。（p.161、178、197、199、201、213、214）	おもに 特色４　p.33-36
	防災に関して、どのような配慮がなされているか。	●第１部第１章第３節では、地域の防災備蓄倉庫の設置の事例を用いて現代社会の見方・考え方の学習を展開している。(p.16-21) ●第２部第２章第３節「アクティビティに挑戦　自分のまちの課題を解決する予算案を提案しよう」では、地域防災への予算について考える場を設けている。（p.108-109） ●教科書の最後のページで中学生も参加している防災・減災の取り組みが掲載され、生徒の参画意識を高めるように構成されている。（巻末2-3） ●コラム・特設ページ「未来に向けて　防災」が4箇所設置され、防災に関する取り組みが紹介されている。（p.7、27、179、巻末2-3）	おもに 特色４　p.33-36 および　p.41-44
	人権・平和教育の推進のために、どのような配慮がなされているのか。	●第２部第１章「日本国憲法と私たち」において、**人権の意義や課題**が解説されている。（p.30-73など） ●第２部第１章第１節「５日本の平和主義」において、日本国憲法における**平和主義の意義**が解説されているとともに、第４部第１章第２節「8国際社会における日本の役割」において、**平和主義に基づく日本の国際協力のあり方を考えられる**ようになっている。（p.40-41、206-207） ●コラム・特設ページ**「未来に向けて　人権・多文化」**が6箇所設置され、人権・多文化に関する取り組みが紹介されている。（p.9、11、51、52-53、73、114） ●コラム・特設ページ**「未来に向けて　平和・安全」**が2箇所設置され、平和・安全に関する取り組みが紹介されている。（p.113、191）	おもに 特色４　p.33-36 および　p.42
	グローバル化に関して、どのような配慮がなされているか。	●第１部第１章第１節「３グローバル化が進む現代」において、**グローバル化の概要と社会への影響**が解説されている。（p.8-9） ●第４部第１章第１節「4 持続可能な国際社会に向けて」では、グローバル化が進む国際社会において、**宗教や民族の違いを理解し尊重し合う態度**について解説している。(p.190-191) ●第４部第１章第２節「６国際社会の変化」において、**国際社会の現状と国際協調の重要性**が解説されている。（p.184-185）	おもに 特色４　p.33-36 および　p.41-44

帝国書院『社会科 中学生の公民』　特色一覧
② 検討の観点から見た内容の特色

観点	観点の内容	帝国書院　『社会科 中学生の公民』の特色　　※（青字）は教科書のページ	内容解説資料での特色と掲載ページ
	少子高齢化に関して、どのような配慮がなされているか。	●第１部第１章第１節「４少子高齢化が進む現代」において、**少子高齢化の概要と社会への影響**が解説されている。（p.10-11） ●第３部第１章第４節「４社会保障と少子高齢化」において、**少子高齢化の現状を踏まえた国の財政のあり方を考えられる**ようになっている。（p.162-163）	おもに 特色４　p.33-36 および　p.41
	情報化に関して、どのような配慮がなされているか。	●第１部第１章第１節「２情報化が進む現代」において、**情報化の概要と社会への影響**が解説されている。（p.6-7） ●第２部第１章第１節「８情報社会と人権」において、**情報社会に関わる人権保障の新しい動き**が解説されている。（p.60-61） ●第３部第１章第５節「３これからの日本経済」において、**経済のデジタル化や人工知能（AI）の発達などに伴うこれからの日本経済のあり方を考えられる**ようになっている。（p.172-173） ●コラム・特設ページ「未来に向けて　情報・技術」が4箇所設置され、**情報・技術に関する取り組み**が紹介されている。（p.27,137,180,214）	おもに 特色４　p.33-36 および　p.41-42
表記・表現	**統計、挿絵、写真、図表**などは鮮明、正確かつ適切であり、相互の関連がはかられるなど学習効果を高めるための工夫がなされているか。	●本文の記述を補足する写真や図表などが**豊富に掲載**され、学習を深められるようになっている。 ●**学習内容に関連する事項についての参照ページ、参照資料の図番号、「条文参照」**などのリンク機能が設けられ、資料の活用を促している。 ●資料の読み取りのポイントを示した**「資料活用」**が随所に設置され、資料の活用を促している。 ●公民的分野の学習に必要な用語を解説した**「解説」**のコーナーが側注欄に38項目設けられている。 ●ＱＲコンテンツの中に**用語解説**が用意されている。	おもに 特色３　p.19-32 特色５　p.37-40
表記・表現	**特別支援教育やインクルーシブ教育**に対して適切な配慮がなされているか。	●本文や図版などでは、文字をはっきり読み取ることができる**ユニバーサルデザインフォント（UDフォント）**が使用され、**誤読を防ぐ**ように配慮されている。 ●見開きのデザインや、グラフ・地図などの資料には、**色覚特性をもつ生徒も識別しやすい色や模様**が使用され、**カラーユニバーサルデザイン**に配慮がなされている。 ●色数の多いグラフや地図には、模様や線種、記号などが使用され、**色以外での区別ができる**ように配慮されている。 ●図版が色で囲まれ、**どこまでが同一の図版か読み取りやすい**よう、配慮されている。 ●各見開きのデザインは、生徒が学習しやすいように本文、資料、側注などが**統一されたレイアウト**で整理されている。 ●紙面右端のインデックスには、章の学習内容が記載されていることで、**一目で学習している単元がわかる**ように配慮されている。 ●**反射を抑えた紙**が用いられ、読み取りやすくなるように配慮されている。	おもに　p.53-54
印刷・装丁等	**紙質や印刷の鮮明さ**など、生徒の利便性に配慮がなされているか。	●写真の印刷は**鮮明**で見やすくなっている。 ●表やグラフなどの図版は、**記号や注記文字が明瞭**で読み取りやすいように配慮されている。 ●紙は、**反射を抑えつつ、鮮明に発色して裏写りせず、かつ文字も書き込める軽量なもの**が使用されている。 ●生徒が家庭に持ち帰ることを想定し、**軽い紙**が用いられている。	おもに　p.53-54
印刷・装丁等	**造本**は3年間の使用に耐えられる配慮がなされているか。	●表紙の材料は引っ張り、折りなどに強い用紙が使用され、さらに、表面の摩耗・汚れを防ぐためにポリプロピレンシートが貼られており、**長期間の使用に耐えられるように工夫されている。** ●製本は、針金綴じよりも**強度があり、かつ重量の軽いPUR製本**が用いられている。これにより本が大きく開くため、**机の上に開いたまま置くことができる**ように工夫されている。	
印刷・装丁等	用紙・インキ等は、**環境への配慮**がなされているか。	●古紙および環境に優しいフレッシュパルプが用いられている。インキには国産米の米ぬかから作られるライスインキが使用され、**環境保全への配慮がなされている。** ●**針金を使わない**PUR製本により、**資源を節約する**と同時に、**リサイクルしやすく**なっている。	
サポート体制	**デジタル教科書・教材や教師用指導書などのサポート体制**はどのようになっているか。	●学習者用デジタル教科書、学習者用デジタル教科書＋教材、指導者用デジタル教科書（教材）、教師用指導書、拡大教科書が令和7年４月までに発刊される予定である。	おもに p.55-56 p.57-58